

# 難病患者（高度医療機器使用患者）レスパイト入院費用助成事業

令和5年2月17日 保健予防課

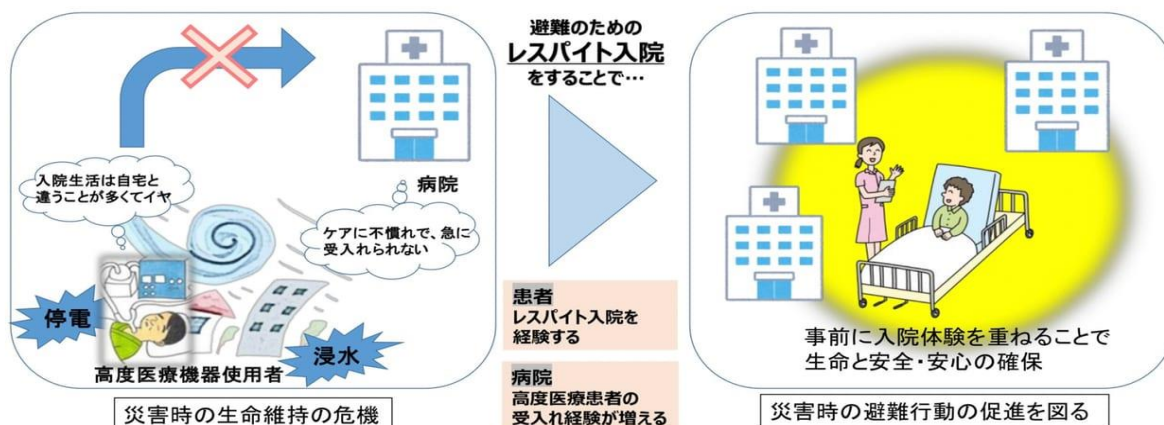
## 【事業化に至るまでの背景】

「レスパイト入院」とは、介護者の負担軽減等を目的に、自宅療養中の患者の一時的な入院のことをいいます。患者や家族が安心して在宅療養生活を送る上で必要な選択肢の一つです。

保健予防課では、在宅療養中の難病患者や家族が抱える、以下の課題を解決するために令和4年度から「難病患者（高度医療機器使用患者）レスパイト入院費用助成事業」をスタートさせました。

（課題）

- ・ レスパイト入院は個室対応が多く、費用負担が大きく利用が難しい
- ・ 在宅高度医療（人工呼吸器等）を受けている患者のうち、災害発災時に「避難する」と答えた患者は約20%。一般避難所での生活や移動に対する不安から「避難しない」と考えている患者が多い。



## めざす姿

レスパイト入院を経験し、患者や病院が災害時の避難に対する意識を高める

## 【事業概要】

（対象者）

市内在住の指定難病患者のうち、高度医療を受けている在宅療養患者

（助成内容）

(1) 入院時の個室代（上限15,000円／日）

(2) 入院時の移送費用及びヘルパー利用料（上限5,000円／日）

※同一年度内で14日間分まで利用可能

**【実施状況】** ※令和5年1月末現在

申請件数 7件（申請者数 5名）

No.	年代	疾患群	入院先	日数	助成額
1-1	30代	神経筋疾患	小松病院	2日	15,860円
1-2				2日	14,860円
2-1	70代		関西医大香里病院	6日	76,000円
2-2				6日	76,000円
3-1	70代		青樹会病院	13日	89,720円
4-1	70代		関西医大香里病院	14日	164,000円
5-1	40代		大阪複十字病院	5日	38,500円

**【事業効果】**

- (1) 災害に対する意識の向上
- (2) 経済的及び介護負担の軽減

**【今後の事業課題】**

- (1) かかりつけ病院以外での入院経験の重要性
- (2) 在宅療養と入院療養で「できること」「できないこと」を伝える  
「患者教育の必要性」
- (3) 関係機関と病棟スタッフとの連携強化
- (4) 患者搬送事業者（介護タクシー業者）との連携